

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		しとく館自立支援学習センター放課後デイ 百合ヶ丘教室		公表日 令和8年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	・学習と余暇活動のスペースを分けるなど工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	・職員数は適切である。	・体調不良等の緊急時に対応するために後一人は欲しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	・入口にスロープや手すりが設置されている。 ・学習スペースとその他の部屋がつながっているので職員の目が届きやすい作りになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	・サービス提供後に清掃や消毒を行っている。	・子どもの利用人数が増えてきたので、日によっては少々狭く感じる時もある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	・別室(活動をしていない部屋)などのスペースを活用して対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	・適宜ミーティングを行い業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・評価表の内容を周知することで業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・ミーティング等で意見交換をして改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		・今後、必要に応じて外部評価を取り入れていくことを検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・内部外部研修の受講機会を設けている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	・作成されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	・契約時にアセスメントを行っている。また、適宜保護者と相談の上、ニーズや課題を取り直している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・職員会議やミーティング内で検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・計画目標や支援内容に関する共有を行っている。また、計画書を回覧することで共有もしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	・ツールを用いている。また、その状況や対応を残すことで振り返りや今後の対応について検討できるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	・支援に必要な項目を適切に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	・職員全体の意見を取り入れながら立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	・目的や状況に応じて異なるプログラムを作成している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	・集団活動が中心だが、必要に応じて個別で取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・朝と昼にミーティングを行い、配置等について話し合う機会がある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	・気づいた点やトラブル等を共有し、次回以降の支援改善に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	・児童一人ひとりの支援内容を記録している。また、回覧することで内容の共有も図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	・定期的にモニタリングを行い適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0	・基本活動に加えて、必要に応じて組み合わせ支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	・活動の中で複数の選択肢を提示し、自分で選択する機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・児童発達支援管理責任者のほか、主任が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・必要に応じて連携しながら支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	・下校時刻や年間計画をもらっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	2	・相談支援員を通じて情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	・必要に応じて提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	3		・児童発達支援センターの研修を受ける機会がないため、今後研修等を検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		・他業種事業所との交流の機会がないため、今後検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0	・定期的に自立支援協議会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	・連絡帳や、送迎時の報告にて共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3		・家族に対しての研修は行ってない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	・契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	・保護者や児童の意向を極力確認するように努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	・同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	・電話や来所等で相談を受けている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		・父母会、保護者会の開催は行っていないため、必要に応じて検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	・極力迅速に対応するよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0	・定期的にホームページやレターにて活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	・十分に注意して取り扱っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	・口頭以外での伝達方法を併用しながら、わかりやすい説明と正確な情報伝達を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		・行えていないので、今後そういったことにも力を入れていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	・様々なマニュアルを策定し、マニュアルを提示することで周知を図っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	・行うよう努めている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	・診断名や処方薬の提示を促している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	2	・アレルギーの申し出があった場合に個別で対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	・行われている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	・提示物等で周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	・ミーティング時に共有し、再発防止の検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・必ず、守谷障サ連が主催する虐待防止に研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	・保護者の同意を得たうえで行うようにしている。		